

日本補助犬協会の事例

「心のバリアフリー検定」

目的:「ユニバーサルデザイン 2020 行動計画」に基づき、共生社会の実現に向けた「心のバリアフリー」を推進する。



1. プログラム概要

- 1)心のバリアフリーについての解説
- 2)障害当事者講師による講習・実生活での課題、企業取組み事例紹介
- 3) 補助犬(盲導犬・介助犬・聴導犬)のデモンストレーション
- 4) ディスカッション
思い込み/偏見などの意識改善、合理的配慮について実社会の課題、コミュニケーションの改善、当事者と必要なサポートについて意見交換
- 5)検定テスト(合格者には認定証)



2.活動成果

- ・企業からの参加者実績 約 350 名(計 6 回累計)
- ・参加者属性:企業の経営者・管理職者、及び CSR 担当者、広報関係者、店舗責任者、社員。
参加者の声) 聴導犬などを初めて知った。様々な障害の困り事を、「自分ごと化」できるきっかけとなった etc.
- ・障害当事者講師と様々なシチュエーションでの対応方法、商品やサービスの改良について改善点の意見交換
例)商品の中身についての点字はあるが味についての表記がないものが多い、お洒落な施設のトイレは構造が複雑でわかりにくい。etc. →参加者からの感想を取りまとめ、Web サイト、マニュアルなどに反映予定

3.今後の展開

「心のバリアフリー検定」実地講習を拡大(会場・企業訪問・訓練所)、オンライン検定導入による全国展開(準備中)。



連絡先 : 公益財団法人 日本補助犬協会

E-mail : japan@hojyoken.or.jp / Fax : 045-951-9222 / 電話 : 045-951-9221